

八 街 市 外 部 評 価 結 果

事 務 事 業 評 価	事務事業名	リサイクル推進費		
	担当部課名	経済環境部環境課		
	事業の概要	<p>○ 資源回収した量に応じて、奨励金を63の資源回収実施団体に交付し、ごみの減量化・再資源化を推進する。古紙類、スチール缶、アルミ缶、ビンに対し、1kgあたり4円の奨励金を交付。</p> <p>また、収集・運搬するリサイクル事業協同組合に対して、その経費として108,000円の補助金を交付。</p>		
	H24決算	3,228千円	内部評価 決定内容	現状維持
	課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみのリサイクル・再資源化については、国策でもあるほか、当市においても最終処分場の延命化を図る必要があることから、引き続き資源回収制度を進める必要がある。 		
担当部課長の評価	<ul style="list-style-type: none"> ・循環型社会形成の推進を図るためにも、現行の資源回収制度を引き続き実施する必要がある。 ・担当課の方向性を支持する。 			

行 財 政 調 査 会 の 評 価	
事務事業名	リサイクル推進費
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 手法等を見直し継続 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> 他事業と統合又は廃止	
評価に関するコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・リサイクル回収団体が、今後も継続してリサイクル活動を推進できるよう、市としても現行の奨励金制度のみではなく、広く手法等を調査・研究し、更なる制度の確立に向け努力してほしい。 ・市民に対し、ごみの減量化を推進するための広報等を経費をかけずに、周知する必要がある。
委員の主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・リサイクル団体を増やすとともに、ごみの減量化に向け広く市民に詳細を広報してほしい。 ・市民と協働して経費のかからない広報活動なども考えられる。 ・奨励金制度を継続していくことは、各種団体の活動資金を得るためのものではなく、リサイクルを推進していくことが目的でなければならない。 ・ごみの減量化については、今何が問題なのか市民が知らなければ問題解決には至らないので、市の現状を示すデータ等を広報する必要がある。
評価会議名	第3回八街市行財政調査会